

君もアートが好きになる！

中高生対象
参加費無料

みんなでアートを楽しもう！

参加者募集

瀬戸内 スタディツアー

備讃瀬戸の島を巡って、アートに親しみ、アートを通して地域を知り、アートから自分の考えを導く、中高生対象の体験学習ツアーです。瀬戸内の四季を通して、アートへの興味を深めていきましょう。

「アートを五感で体験しよう」

豊島
TESHIMA

夏

事前レクチャー 8/16㊦
10:00-11:00 オンライン

島のツアー 8/17㊦
9:00-17:00 宇野港集合・解散

振り返り会 8/25㊦
10:00-11:00 オンライン

「アートの役割を考えよう」

犬島
INUJIMA

秋

事前レクチャー 10/21㊦
10:00-11:00 オンライン

島のツアー 10/22㊦
9:00-17:00 宇野港集合・解散

振り返り会 10/29㊦
10:00-11:00 オンライン

「アートで“自分”を考えよう」

直島
NAOSHIMA

冬

事前レクチャー 12/2㊦
10:00-11:00 オンライン

島のツアー 12/3㊦
9:00-17:00 宇野港集合・解散

総まとめ 12/10㊦
10:00-11:00 オンライン
(各島単発参加の方も参加可能)

参加費 無料 ※ただし集合場所までの交通費は各自負担です

応募資格 岡山県に在住の中学生・高校生
※3島通しの参加を推奨します
※集合場所までご自身でお越しください(送迎はありません)

募集定員 各島中学生10名・高校生10名 合計20名

申込期間 6月20日(火)～7月21日(金)

申込方法

右記のQRコード、または下記URL
のフォームからお申し込みください。

<https://forms.gle/WppWfz6XWpUfzRM77>

※応募多数の場合は抽選となります
※結果は7月末までにメールでご連絡します
※ツアーの詳細は参加者に別途ご連絡します
※申込にご記入いただいた個人情報は本業を行う目的以外には使用しません

申込 QR コード



問い合わせ先

NPO法人 瀬戸内こえびネットワーク 087-813-1741

主催:公益財団法人 福武教育文化振興財団

後援:岡山県教育委員会

企画・運営:NPO法人 瀬戸内こえびネットワーク

協力:公益財団法人 福武財団

瀬戸内スタディツアーの流れ

1 事前レクチャー



参加者同士で自己紹介をして仲良くなりましょう。
訪れる島について事前レクチャーを受けて、準備をしましょう。

2 島のツアー



実際に島を訪れます。
ガイドは瀬戸内国際芸術祭のサポーター「こえび隊」です。
五感いっぱい楽しみましょう。

3 振り返り会



島を訪れた感想を共有しましょう。
あなたがどう感じたか、考えたかを発表してみましょう。

島の概要



東備讃瀬戸の中央に位置する島。標高340mの檀山にはスダジイの原生林が茂り、山全体が水を湛え島のあちこちから水が湧き出ていて、古くから稲作が盛んです。1970年代以降、都市部から産業廃棄物が運び込まれ日本最大の不法投棄事件が起きました。

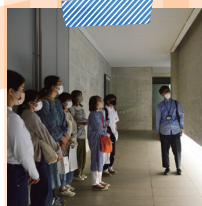
2010年、豊島美術館が完成し、徐々に島のイメージは“豊かな自然とアートの島”へ変化しています。



岡山県岡山市に位置する島。岩の採掘がかつて盛んで、大阪城や江戸城の石垣、鎌倉の鶴岡八幡宮の鳥居などに使われています。1909年に銅製錬所が開設され、10年間稼働し島は一気に発展、一時は3千名の住民がいましたが、銅の価格暴落とともに製錬所は閉鎖されました。2008年に犬島精錬所美術館が開館し、遺構は美術館として再生されています。



27の島々からなる直島諸島。古くから漁業、海運業、製塩業などが盛んで、多くの人やモノが行き交う海上交通の要衝でした。1980年代には島の南側で文化的な観光開発がはじまり、1989年「直島国際キャンプ場」が完成。以降、現代アートと建築による地域づくりは町や住民とともに活動を展開し、“アートの島”として世界中から多くの人々が訪れています。



私たちと一緒にアートを楽しもう！



プログラムディレクター
一般社団法人 まなびと
江森 真矢子

アートに触れると「なんだこりゃ!」「何かを思い出した!」「きれい…」いろんな気持ちが湧き起ります。そして、今まで見えなかったことがよく見えるようになるような、不思議なことも。一緒にそんな体験をしませんか?



プログラムディレクター
NPO法人 だっぴ
森分 志学

マンガやアニメが大好きな人です。僕にとってはマンガもアート。中学生の頃は暇つぶしに、キャラクターの模写をしてたり。仕事は、NPO法人だっぴ代表理事。中高生・大学生向けに様々なワークショップを届けています。



私は瀬戸内国際芸術祭のサポーター、アートや島が大好きです。「どうして?なんで?知りたい!」という好奇心は、新しい体験のトビラ。私たちと瀬戸内を満喫しましょう!